

北っ子 敷島北小学校だより

令和6年9月27日 文責 学校長 増坪広夫

運動会の練習が始まりました

9月18日（水）から運動会特別日課がスタートしました。この特別日課では、毎日1～2時間くらい運動会に関する授業があります。歴史的な猛暑が続き、学校としては WBGT など熱中症指標を事細かに確認しながら練習に取り組んでいます。この時期は毎日の洗濯や体力のつく食事の支度など保護者の負担も大きくなりがちですが、ぜひ頑張っている子供たちに励ましの声かけもお願いします。



多くの子が楽しみにしている運動会ですが、運動嫌いな子にとっては苦痛と感じている場合があるかもしれません。運動は好き嫌いや得意不得意がはっきりと分かれるので、体育の授業など実技的な学習活動によって目に見えて上達した子もいれば、残念ながら十分に力を伸ばしてあげられなかった子もいます。しかしその中には「苦手だけど嫌なことから逃げ出さずに立ち向かった」「めんどくさいと思ったけどがんばった」という子も多くいたはず。これから先、自分にとって「苦手だ」とか「嫌だ」と思えることがたくさん出てくるかもしれませんが、どんな状況であれ「頑張った」「挑戦した」という経験は、きっとその子の中で大きな自信として生かされていくことと思います。

ボンジョビ×盆踊り＝ボン・踊り

運動会では、どの学年も「表現運動」を行います。私の立場で言うのも何ですが、この「表現運動」は運動会の華の一つであると思っています。低学年のかわいらしいダンスや中学年の民謡にあわせた伝統的な踊り、そして高学年の創作的なダンスなど、どの学年も見応えがあるものばかりです。この運動会という大きな行事の中において「子供たちがどんな活躍を見せられるのか」ぜひご期待ください。



運動会は当然「本番」を参観していただくわけですが、子供たちにとってはその「取り組んできた課程」にも大きな意味があります。教科の学習のように「点数」でそれを評価することはできませんが、先人達がそうしてきたように「多くの時間をかけてまで行う価値ある行事」の一つです。保護者の皆様には運動会の演技だけではなく、係活動など等運動会を支える働きぶりも御覧いただければ幸いです。

今年の運動会では、その表現運動に全校表現が加わりました。

ロックの名曲ボンジョビの「Live on a Player」に合わせて和太鼓のリズムで盆踊りをします。コロナ禍で衰退してしまった本校の伝統文化の一つである和太鼓が活躍する場をつくり、児童と保護者、地域の方が触れ合う機会になればと思い企画いたしました。当日は説明を加えながら踊りますので、ぜひお気軽に御参加ください。地域の方からのたくさんの御参加をお待ちしています。

責任ある立場が人をつくる たてわり×やくわり

学校で年間を通して取り組んでいる活動の1つに「縦割り班」というものがあります。学年が違う子供たちの活動なので「異年齢集団」とも呼びます。本校の「縦割り班」は、1年生から6年生までが赤白の2色組に分かれて主に遊びなどを中心に活動するものです。市内はもちろん、多くの学校がこうした「縦割り」の時間を意図的に設けています。効率的なことを考えれば単独の学年だけでやる方がよいのかもしれませんが、この「異年齢集団の活動」にこそ教育的な価値があると本校では考えています。



私が子供の頃、こうした異年齢集団は地域の遊び集団の中に多くみられました。神社やお寺、公園、校庭と遊べるスペースがあれば、様々な学年が集まって遊んでいました。私の地域では当時人気が高かったのが「キックベースボール」や「けいどろ」でしたが、そうした集団の中で「善いこと」も「悪いこと」も教わったり教えたりしていたような気がします。



社会の変化に伴い、学校の外で異年齢が交わる機会が少なくなってしまった今、縦割り活動の良さが表れる機会は少ないかも知れませんが、この運動会への取組の中でこそ、高学年が縦割りグループを中心に全校をつなぐ役割を果たし活躍してくれています。5・6年生は、自分たちの演技に力を注ぐだけでなく、当日は朝から運動会を支える係活動や色組全体の指導をしてくれています。学年の枠を超えた子供同士の「教えたり、教えられたり」という機会はそうあるものではありませんが、見ていてとても良い光景だと思いました。

縦割りリーダーの6年生から指導を受ける下級生は、これまで以上に6年生を慕い多くのことを学ばずです。また、6年生も「リーダーシップをとる」という経験から多くのことを学びます。

ご家庭では、こうした取組過程での成長を見ていただくことはできませんが、学校行事等を通して一回り大きくなった子供たちの姿に今後ご期待ください。

物をそろえると心がそろう

話は変わりますが、職員には運動会に限らず体育の授業に関して、体育着長ズボンや長袖を脱いだ時にはきちんと自分でたたむよう指導して欲しいとお願いしました。暑いときなどは上に羽織っていたものを脱ぐ機会も多く「脱いだら脱ぎっぱなし」の子が多く見られました。これは、体育授業そのものと直接関係ないのですが、身に付けさせたい躰の一つになります。学校はもちろんですが家庭でも機会をとらえて指導をお願いします。

交通安全の「のぼり旗」

地域から要望があった交通安全の「のぼり旗」を作成しました。これはPTA親子安全会の交通安全対策補助金事業に応募し見事当選したことで「のぼり旗」2種類と旗用ポールを購入しました。



キャッチフレーズは児童から公募し「とばしちょし！ そんなに急いで どこいくで？」と「気をつけてここは子供も通る道」が選ばれ、必要な地区に配付し設置をお願いしました。